

第13回高松市中心市街地活性化協議会開催結果

- 日 時 平成24年8月1日(水) 13時30分から15時まで
- 場 所 高松商工会議所会館 4階 401会議室
- 出席者 委員 21名 ・ オブザーバー 10名 ・ 傍聴者 3名
- 開催結果

植木前会長が仮議長となり議事を進行した。



議題1.「会長の選任について」を上程し、選任方法について諮ったところ、出席委員から高松大学教授植木英治氏の再任をお願いしたい旨の発言があり、これを議場に諮ったところ植木教授を選任することに全員異議なく承認決定した。引き続き、植木会長の会長就任挨拶の後、議長となり、議題2.「副会長の指名について」を上程し、本件について

では、規約において会長が指名することになっている旨の説明の後、当協議会の設置者である高松商工会議所専務理事山田哲也氏及び高松丸亀町まちづくり株式会社代表取締役福西善太氏を指名し、了承を得た。次に、議題3.「監事の選任について」を上程し、選任方法について諮ったところ、出席委員から、まちラボ代表濱崎直哉氏及び香川住環境研究会会長香川深雪氏の再任をお願いしたい旨の発言があり、これを諮ったところ、両名を選任することに全員異議なく承認決定した。

次に、議題4.「第2期高松市中心市街地活性化基本計画（仮称）について」を上程し、高松市市民政策局小川コンパクト・エコシティ推進部長より、（1）現在の高松市中心市街地活性化基本計画について、（2）現行計画の数値目標および達成状況について、（3）第2期高松市中心市街地活性化基本計画（仮称）の策定に向けての課題の絞り込みのための整理、（4）第2期高松市中心市街地活性化基本計画（仮称）の策定の考え方について、説明を受けた。

特に、次期計画策定の考え方については、（1）丸亀町商店街の再開発事業が、核となる事業として想定される、（2）小売業年間商品販売額に替わる新たな目標を設定する、（3）



これまでの事業に加え、中心市街地により多くのソフト事業を盛り込む必要がある。具体的には、中央商店街南部地域（常磐町・南新町・田町）の活性化に

向けた取組を加え、「地域活性化総合特区」による事業を次期計画に盛り込むほか、来年開催される瀬戸内国際芸術祭や、街クラシックなどのソフト事業を計



画に盛り込む、(4)次期計画については、丸亀町商店街振興組合の意向を踏まえて、スケジュールを検討していきたいと考えている、との説明があった。

この後、意見交換に移り、出席委員からは、「中心市街地の買物の施設は、かなり充実している。市民アンケート結果にあるように、中心市街地に必要だと思われるもの、不足しているものにもう少し力をいれるべきではないだろうか。」、「まちの景観を守りながら、いかに休憩の場所をつくるか、本格的に取り組まないと、せっかく訪れた人々が、疲れ果てて帰ることになり、もう訪れたくないということになりかねない。」、「回遊性のあるまちづくりというのは、回遊する仕組みをつくらなければ成り立たない。その仕組みを考え、次期計画の中に盛り込んでいくとよい。」、「イベントの効果をはかる基準というのは、難しいと思うのだが、どういった部分で効果を見ていくのか、評価の基準をきちんと指針として表していくことが必要だと考える。」等の意見が出された。